

市長行動記録(平成 31 年度・令和元年度)

(平成 31 年 4 月 2 日) 3 月 31 日に名取市閑上地区で再開した、閑上保育所で 8 年ぶりの入所式が行われました。入所式では、0 歳児から 5 歳児までの園児 45 人が元気に入場しました。建物は、木造の平屋で、最大 66 人まで受け入れ可能で、3 日から本格的に預かり保育をスタートします。



(平成 31 年 4 月 4 日) 名取市ゆりが丘に所在を置く尚綱学院大学の入学式が仙台サンプラザホールで行われ、山田市長は来賓として祝辞を述べました。



(平成 31 年 4 月 5 日)名取市文化会館にて、名取ひよこ園の入園式が行われました。名取ひよこ園は、株式会社ひよこ会・NPO 法人ひよこ会が運営し、待機児童問題解決に向けた取組として、市の認可を受けた保育園を新しく開園しました。山田市長は、来賓として出席し祝辞を述べました。



(平成 31 年 4 月 8 日) 名取市内の小学校で一齐に入学式が行われました。今回、山田市長は名取市立高館小学校の入学式に出席し祝辞を述べました。



(平成 31 年 4 月 9 日)名取市内の中学校で一斉に入学式が行われました。今回、山田市長は名取市立みどり台中学校の入学式に出席し祝辞を述べました。



(平成 31 年 4 月 10 日) 東日本大震災の津波で大きな被害を受けた名取市閑上地区にある消防署の出張所が完成し、落成式が行われました。名取市消防閑上出張所は、8年間消防本部の一角を間借りして仮業務を行ってきました。新しい庁舎は、約1キロメートル内陸に移転し、鉄筋コンクリートの2階建てで、大きな津波が来た時に周辺の住民も庁舎の屋上に避難できるよう外側に階段が設置されました。



(平成 31 年 4 月 10 日)名取市役所にて、ワークライフバランス推進事業所の表彰式が行われました。今回受賞された企業(団体)は、コスモシステム株式会社様と株式会社スプリント様、株式会社エヌ・ケー・エフ様です。ワークライフバランスとは、働き方改革をきっかけに仕事と生活の調和を図ること、性別・年齢を問わず、誰もが働きやすい仕組みをつくることです。



(平成 31 年 4 月 12 日) 名取市文化会館にて第 63 回 名取市区長総会及び第 51 回 区長研修会が行われました。名取市の区長は、区域ごとに行政と住民とのパイプ役として行政事務を補助する役割を担っています。会場では、長い間行政区長をされてこられた方に感謝状の贈呈や部課長及び公民館長の紹介、山田市長の講話などがありました。



(平成 31 年 4 月 13 日) 名取市役所前市民広場で、なとり春まつりが開催されました。満開の桜のなか、風もなく穏やかな晴天に恵まれて、市内外から約 9000 人の来場者でにぎわいました。



(平成 31 年 4 月 16 日) 今月 19 日の増床リニューアル グランドオープンを前に、イオンモール名取にて、「増床棟新築工事 竣工式」が行われました。今までの建物の北側に約 50 店舗の専門店が入る建物を新設し、既存棟においても大規模なリニューアルを実施して、東北最大級のショッピングモールとなります。山田市長は来賓として出席しました。



(平成 31 年 4 月 17 日) 食品館イト一名取店 入口ブースにて、「元気なとり」減塩プロジェクト 健康フェアが開催されました。名取市では、「元気なとり」食育プラン第 3 次に基づき減塩プロジェクトの第 1 弾を始動いたします。会場では、塩分チェックや JSH 減塩食品の紹介・試食、血圧測定などが行われ、山田市長も買い物に来られたお客さまに減塩プロジェクトの呼びかけをしました。



(平成 31 年 4 月 19 日) 名取市の仙台空港アクセス線、杜せきのした駅南側にあるイオンモール名取にて、増床リニューアルグランドオープン記念式典が開催されました。増床棟にアパレルや飲食店計 46 店舗が入り、約 240 店に拡大し、イオン様の東北にある 14 のショッピングモールの中で最大規模になるそうです。山田市長は、来賓として祝辞をのべ、テープカットをしてオープンを祝いました。



(平成 31 年 4 月 19 日)増床リニューアルオープンしたイオンモール名取に名取市子育て支援施設「cocoI'll(ここいる)」と「尚綱学院大地域連携交流プラザ」が開設され現地で合同オープニングセレモニーが開催されました。ここいるは、未就学児と保護者が対象で、0 歳児向けの「赤ちゃんひろば」や遊具をそろえた「ふれあいひろば」などを整備し、保育士らスタッフが常時 3 人以上勤務します。交流プラザは、市民向け生涯学習講座や企業との産学連携などの拠点として、世代を超えた交流の場を目指します。



(平成 31 年 4 月 19 日)名取市閑上地区で、東日本大震災からの復興プロジェクト(グリーン復興プロジェクト)の一つである「みちのく潮風トレイル」の管理拠点「名取トレイルセンター」開所記念式典が行われました。開所式に先立ち、今月 25 日にオープンする「かわまちテラス閑上」からトレイルセンターまでの約 2.5 キロを歩く記念イベントが開催され山田市長も参加しました。



(平成 31 年 4 月 25 日)名取市閑上地区に、初めての商業施設「かわまちてらす閑上」がオープンし記念の式典が行われました。施設は、名取川堤防沿いに木造平屋建てで 3 棟などが連なり、入るお店は飲食店や青果店、鮮魚店など 27 店舗を出店する計画です。かわまちてらす閑上とは、東日本大震災で大きな被害を受けた閑上地区で地元業者と応援者によってまちづくり会社を設立し、閑上の商業の再建を果たすために立ち上げた施設です。



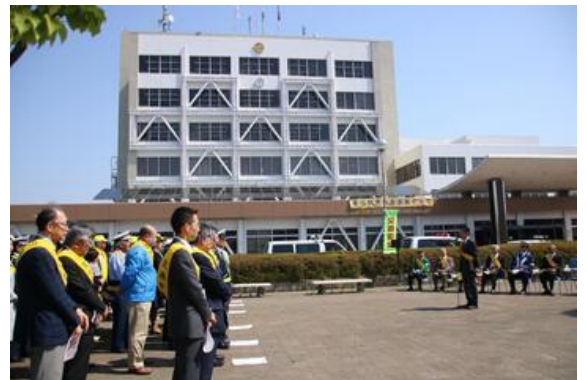
(平成 31 年 4 月 26 日)名取市の仙台空港東側に位置する北釜防災公園で、公園遊具完成記念式典が行われました。東日本大震災により被災した下増田臨空公園の遊具の復旧として複合遊具を設置しました。新設遊具は、児童用複合遊具(プレイポート ワンダー キングダム)と幼児用複合遊具(わくわくエアポート)の 2 基で仙台国際空港(株)様より地域共生事業として事業費の一部を寄附して頂きました。



(令和元年 5 月 9 日)東日本大震災の津波で被害を受けた名取市閑上地区で「名取市サイクルスポーツセンター管理棟改築再建工事」の安全祈願祭が行われました。今回建設する施設は、天然温泉を備えた最大 100 人が宿泊可能な6階建ての施設で、約 4 キロメートルのサイクリングコースやバスケットコート、スケートボード場も設けられます。新たな施設は、令和 2 年の秋にオープンする予定です。



(令和元年 5 月 10 日)名取市役所にて春の交通安全市民総ぐるみ運動出発式が行われました。今回の交通安全運動は、5 月 11 日(土曜日)から 20 日(月曜日)までの 10 日間です。「守ろう交通ルール高めよう交通マナー」・「交通ルール守るあなたが守られる」を基本に安全運転を心がけましょう。



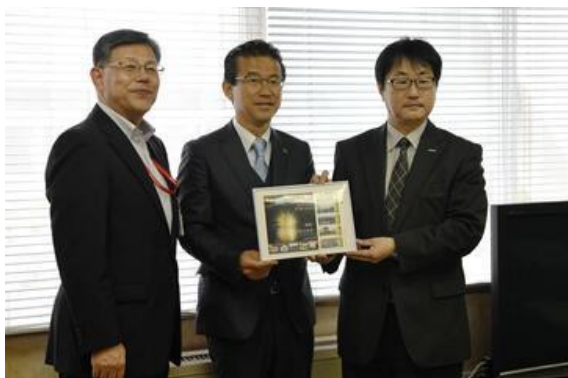
(令和元年 5 月 17 日) 東日本大震災で被災した東北の太平洋に国内最長の自然歩道を設け、歩いて復興を支援する環境省のプロジェクト「みちのく潮風トレイル」の会長を務める山田市長が宮城県北部と岩手県南部を視察しました。今回視察した施設は、石巻市の石巻・川ビジターセンターと南三陸町の南三陸・海ビジターセンター、大船渡市の碁石海岸インフォメーションセンターで、各施設ごとそれぞれの風景があり、自然豊かで環境のよいところです。



(令和元年 5 月 18 日) 名取市閑上地区で東日本大震災の津波で被災した閑上公民館・閑上体育館が 8 年ぶりに再建され記念の式典が行われました。公民館は、鉄筋コンクリート 2 階建てで1階ロビー南側にはデッキテラスを設け、屋上は避難場所として外階段が設置されました。



(令和元年 5 月 21 日)東日大震災の津波被害を受けた名取市閑上地区で閑上まちびらきを記念して記念切手を販売します。記念切手は、震災前の閑上の風景を写した写真で、5 月 26 日のまちびらき日にメイン会場の閑上公民館と閑上中央集会所、かわまちてらす、ゆりあげ港朝市メイプル館で1シート 820 円で販売されます。この完成した記念切手を名取郵便局長より山田市長と針生まちびらき実行委員会会長に手渡されました。



(令和元年 5 月 25 日)名取市愛島台地区にて、令和元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練が名取市の担当で行われました。この訓練は、林野火災の特殊性及び資源保護の重要性の観点から、火災発生時における防ぎょ活動の円滑化に資するため、地域の特性を考慮した実践的な訓練を通じ、関係機関相互の協力体制の強化を図るとともに、消防職・団員の火災防ぎょ技術の向上及び県民に対して広く防災思想の普及を図ることを目的としています。





(令和元年 5 月 25 日) 5 月 26 日の関上まちびらきの前日に東日本大震災慰霊碑にて、まちびらき実行委員会針生会長と山田市長は犠牲者への冥福とまちびらきの成功を祈り、震災発生時刻の午後 2 時 46 分に黙とうをささげました。



(令和元年 5 月 26 日) 関上地区のまちびらきにあわせて高館那智神社から関上漁港へお神輿を担ぐ神事、「お浜降り」が 21 年ぶりに復活しました。この行事は、関上の浜でうちあげられたご神体を光が導いた高館山に祀り、のちに紀州熊野那智神社からの分霊もお祀りするようになりました。この「お浜降り」は御神体が関上へ里帰りする神事です。





(令和元年 5 月 26 日) 東日本大震災の津波被害を受けた名取市閑上地区で、犠牲者の鎮魂と復興支援への感謝を発信する「まちびらき」が閑上公民館前広場をメイン会場に行われました。閑上体育館で行われた記念式典には、渡辺復興大臣をはじめ地元の国会議員の方々や近隣市町村の首長など関係者約 220 人が出席しました。まちびらきメイン会場のステージでは、アンパンマンや城之内早苗さん、早見優さんと松本伊代さんのショーが開催され、他の 8 会場でも、様々なイベントが行われました。



(令和元年 5 月 26 日) 関上まちびらきに合わせて、兵庫県社会福祉協議会の災害支援団体「ひょうごボランティアプラザ」の皆様が竹灯籠による追悼行事を震災メモリアル公園にて行われました。ひょうごボランティアプラザの方々は、東日本大震災から毎年 2 回、3 月 11 日と 8 月 15 日に追悼行事や愛島東部仮設団地集会所の清掃等に来ていただいております。



(令和元年6月1日) 名取・岩沼・亶理・山元の 2 市 2 町で構成する岩沼歯科医師会の主催で「第 27 回 歯と口と健康のつどい」が名取市文化会館で開催されました。会場では、8020 達成者や歯っぴー川柳などの表彰式や歯の健康診断、フッ素塗布コーナーなど歯に関する様々なイベントが開かれました。



(令和元年6月2日)復興へのまちづくりが進む名取市閑上地区で、地域のつながりを取り戻そうと地元住民が企画した「ふるさとゆりあげ復興まつり」が閑上公民館で開催されました。



(令和元年6月1日-2日)第61回名取市中学校総合体育大会が名取市内の10会場で行われました。山田市長は、公務の合間に市民球場や十三塚公園サッカー場、市民体育館、第一中学校へ行き各中学校の健闘を祈りました。



(令和元年6月3日) 関上公民館が再建され、小塚原地区で仮設の関上公民館として利用していた建物に、子どもの心のケアハウス「はなもも教室」が開設し、開所式が行われました。「はなもも教室」は、学校になかなか足が向かない登校が困難な小中学生やその保護者の方々を支援し、児童生徒の自立や学校復帰を目的として設立しました。



(令和元年6月8日) みちのく潮風トレイル全線開通イベントとして、仙台空港の東側にある北釜防災公園から、名取市関上に4月オープンした名取トレイルセンターまでの約8キロのコースを歩く「なとりトレイルウォーク」が開催されました。今回のイベントのゲストとして、福島県出身でタレントのなすびさんと山田市長も小雨が降るなか参加者と一緒に楽しく歩きました。



(令和元年6月9日)環境省は、「グリーン復興プロジェクト」の一環として青森県八戸市から福島県相馬市まで4県28市町村にまたがる太平洋沿岸を一本の道で繋ぐ「みちのく潮風トレイル」の全線開通記念式典を名取市文化会館で開催しました。式典では、原田環境大臣をはじめ4県の知事や28市町村の首長などが手を繋ぎ全線開通を祝いました。



(令和元年6月19日)十三塚名取市民球場にて、「第41回 県南ブロックグラウンド・ゴルフ春季交歓名取大会」が行われました。この大会は、宮城県グラウンド・ゴルフ協会に加入する県南4市9町の会員が参加でき、国民体育大会の予選も兼ねています。会場は13市町持ち回りで、今回は名取市が担当です。山田市長は、開催地市長として歓迎のあいさつを述べました。



(令和元年 6 月 22 日)名取市閑上の貞山運河西側にて西松建設様による「ひまわりプロジェクト～ひまわりで笑顔
を届けよう～in 閑上」が今年も行われました。このプロジェクトとは、関東圏の方々が育てたひまわりの苗を被災地
に植栽する「苗のリレー」を行っております。



(令和元年 6 月 23 日)岩沼市の阿武隈川下流左岸堤防にて、岩沼市と名取市の水防団でつくる「阿武隈川下流左
岸水害予防組合」が豪雨による堤防決壊の恐れを想定し水防工法訓練を実施しました。



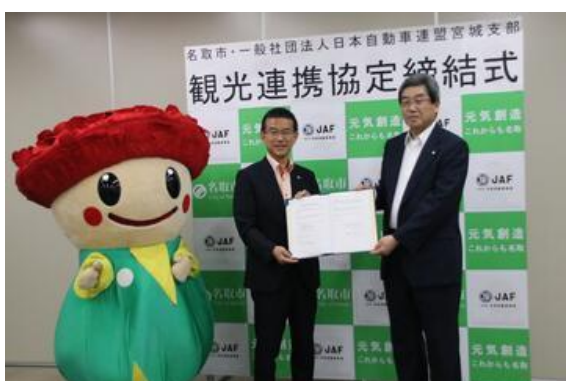
(令和元年 6 月 24 日) 名取市文化会館にて「第 69 回 社会を明るくする運動名取市推進委員会」が開催されました。社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人や非行のある少年を励まし、その立ち直りを助けることへの理解と協力を進めることを目指しています。この運動は、7 月を強調月間として全国的に展開されます。



(令和元年 6 月 27 日) 名取市役所にて優良工事表彰式が行われました。今回受賞された企業は、グリーン企画建設 株式会社様と株式会社 ワタケン様の2工事、株式会社 今幸建設様、株式会社 本郷土建様の4社様です。この賞は、市内の建設関連企業が市発注の工事を施工するに当たり、管理や技術力の向上に対する意識を高め、工事の品質を確保することが目的で実施されております。



(令和元年6月27日)名取市役所にて、JAF(日本自動車連盟)宮城支部様と名取市の「観光振興協定締結式」が行われました。この協定は JAF 宮城支部様と名取市が、それぞれが持つ資源を有効に活用し、観光振興を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的とします。



(令和元年7月4日)名取市民体育館にて、「第43回 名取市老人スポーツ大会」が開催されました。この大会は、市内の60歳以上の方が対象で、老人クラブに所属し8地区に分かれて競技を競います。山田市長は、開会の挨拶をし、競技を開始するスターターピストルを鳴らしました。



(令和元年 7 月 6 日)東日本大震災の復興支援や中学生海外派遣事業でお世話になっているカナダを紹介するイベントで「ありがとう！カナダフェア」が名取市図書館にて6月 23 日から 7 月 27 日まで開催しております。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックでは、カナダの「復興ありがとうホストタウン」になっています。6日は、カナダの方を講師に招いて「カナダってどんな国？」と題して、日本語と英語による絵本の読み聞かせやカナダの自然や文化を英語で学ぶイベントがありました。



(令和元年 7 月 7 日) 関上海岸にて、名取ハマボウフウの会による「ゆりあげ浜びらき」が開催されました。この浜びらきは、海岸清掃や海岸移植用のハマボウフウの栽培など関上海岸の環境保全活動を続けて行くなかで、震災から 8 年を過ぎた今、ご支援を頂いている皆様に心から感謝申し上げるとともに関上海岸復旧の節目の年と考え新たな未来へ向かおうとするものです。山田市長は、来賓として祝辞を述べました。



(令和元年 7 月 7 日) 名取市文化会館にて「2019 なとりこどもファンド公開審査会」が開催されました。なとりこどもファンドは、子どもたち自身が提案し、子供たちが審査をする。未来のまちづくりを支える、名取の人材を育成し子供たちアイデアをみんなで応援する事業です。



(令和元年 7 月 9 日) 名取市立閑上小中学校の南側にて、閑上児童センターの安全祈願祭及び起工式が行われました。現在、閑上児童センターは、閑上小中学校を間借りしていますが令和 2 年4月に再開する予定です。



(令和元年 7 月 12 日)蔵王エコライン途中の霊場・賽の碓(さいのかわら)・金峰山蔵王寺にて名取市出身戦死病没者慰霊供養が行われました。今年は、あいにくの雨で、本堂をお借りしての慰霊供養祭となりました。



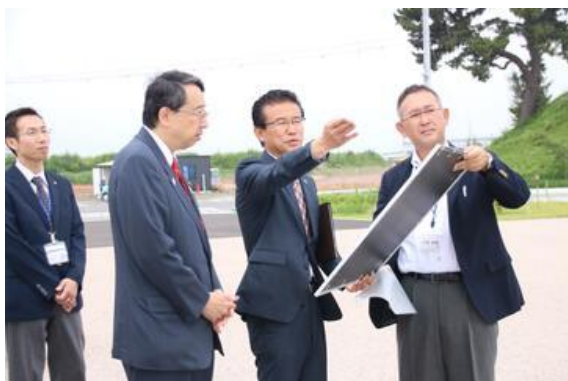
(令和元年 7 月 24 日) 名取市文化会館にて、「令和元年度 名取市小学校児童対象外国語体験プログラム Summer English Day」が開催されました。このプログラムは、市内の小学校5・6年生を対象に ALT(外国語指導助手)と英語を使った楽しい体験をすることで、コミュニケーション能力の育成を図ることを目的としています。山田市長は、来賓として励ましの言葉を述べました。



(令和元年 7 月 26 日) 今年の 4 月 19 日にイオンモール名取店の増床リニューアルオープンに開設された子育て支援施設「cocoil II(ここいる)」の来場者数が1万人を達成し記念のセレモニーが行われました。1 万人目に来店されたお母さんとお子様には、山田市長から花束と記念品が贈呈されました。



(令和元年 7 月 26 日) 橋慶一郎復興副大臣が名取市閑上地区の新しく整備した施設を視察に来られました。橋復興副大臣は、東日本大震災慰霊碑に参拝されたのち、震災メモリアル公園や閑上小中学校、かわまちてらす、みちのくトレイルセンターを見学し山田市長や施設担当者から説明を受けられました。



(令和元年 7 月 28 日) 名取市役所駐車場にて「第 49 回 名取市消防操法指導会」が開催されました。会場では、市内各地区の消防団から 11 チームが選抜され、日頃の訓練の成果を競いました。今回、ポンプ操法競技で最優秀賞に輝いたのは、増田分団第 7 部チームでした。おめでとうございます。



(令和元年 8 月 1 日) 名取市役所にて、「名取ライオンズクラブから名取市へのライフジャケット贈呈式 並びに 感謝状贈呈式」が行われました。頂いたライフジャケットは、大人用 20 着、子供用 100 着で、市内の消防署や消防団に配備し、水害や水難事故等に活用します。



(令和元年 8 月 3 日)名取市立下増田小学校グラウンドにて「第 34 回 なとり夏まつり」が開催されました。猛暑にもかかわらず約 2 万 4000 人の来場者でにぎわいました。会場内では「なとり夏まつり供養祭」も行われました。



(令和元年 8 月 9 日)国土交通省は、道路の意義・重要性について、国民の皆様に関心をもっていただくため、8 月 10 日を「道の日」と制定しました。名取市では、その日を記念して「道の日ふれあいキャンペーン」と称し、市内の建設業者様と協力して道路の清掃活動を実施しました。



(令和元年 8 月 15 日) 仙台空港カントリークラブにて「第 45 回名取市民ゴルフ大会」が開催されました。台風 10 号が近づく中、雨は降らないものの風はやや強く気温湿度が非常に高いコンディションでの大会でした。山田市長は、来賓として祝辞を述べました。



(令和元年 8 月 18 日) 愛島公民館にて、愛島もりあげ隊による「めでしまの竹で遊ぼう！(愛島竹取物語 PART1)」が開催されました。今回は、愛島の竹をつかって割り箸とおちょこを作り、流しソーメンと取れたて夏野菜を食べるイベントで、愛島地区の約 200 人の親子が参加されました。山田市長は公務の合間におちょこ作りに参加しました。



(令和元年 8 月 28 日) 名取市役所にて、名取市と株式会社 伊藤チェーン様との「災害時応援協定締結式」が行われました。この協定は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、食料品や飲料水等が緊急に必要なときに保有物資を優先的に運搬・供給していただける事項を定めるものです。



(令和元年 8 月 28 日) 名取市上余田出荷組合にて令和元年 名取産 仙台せりの初出荷式が行われました。宮城県は日本一のせり生産県で、名取市が約8割を占めています。名取市発祥の根までまるごと食べるせり鍋ブームにより需要が増えた「仙台せり」のブランド確立に向けて、農林水産省の地理的表示(GI)保護制度への登録を目指し、8月9日に仙台せり振興協議会を設立しました。



(令和元年 8 月 28 日) 名取市文化会館にて、名取市食育研修会が行われました。中ホールでは、講師に日本高血圧学会 減塩委員会オブザーバーをお迎えし「おいしく減塩！～減塩食品を賢く選び、使ってみよう～」と題して講演して頂きました。ホワイエでの体験コーナーでは、JSH 減塩食品リスト記載品の展示・減塩食品の試食体験、血圧測定などが行われました。



(令和元年 8 月 29 日) 東日本大震災の津波で大きな被害を受けた名取市閑上地区に、地域としては初めての大型スーパーマーケットが建設されることになり、地鎮祭が行われました。新しくスーパーマーケットを建設するのは、宮城県柴田町に本社がある株式会社 伊藤チェーン様です。今回建設される施設は、伊藤チェーンを中心とする複合商業施設で敷地内にドラッグストアや 100 円ショップなども出店し、来年 7 月頃にオープンする予定です。



(令和元年 8 月 30 日)サントリーグループの東日本大震災復興支援活動の一環で、「宮里 藍 サントリーレディースオープンゴルフトーナメント」に寄せられたチャリティ金で購入した 29 人乗りの人員輸送車の交付式が、名取市役所にて行われました。式典では、大会アンバサダーの宮里 藍様より山田市長へゴールドキーが贈呈され、山田市長から、謝辞と感謝状が贈られました。



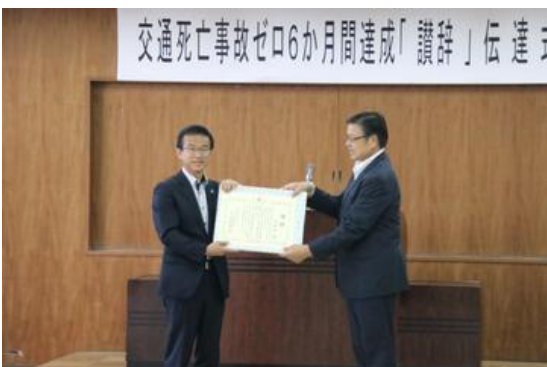
(令和元年 9 月 7 日) 9 月 16 日の敬老の日も近づき市内の各地区や老人福祉施設では、敬老お祝い会や敬老大会が開催されており、山田市長は来賓として出席してます。本日は、宮城福社会敬老大会に出席し、名取市からの記念品贈呈やお祝いの言葉を述べました。



(令和元年9月7日)今年で9年目となる日本縦断タスキリレーRUN 伴(ランとも)に名取市職員有志チームが参加しました。名取市のエリアは、かわまちてらす閑上から特別養護老人ホームうらやすまでの約6Km のコースを山田市長とともにたすきをつなぎました。RUN 伴とは、今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にたすきをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。今年のテーマは「Connecting the dost(点と点をつなぐ)」を掲げ、認知症の人が安心して暮らせる地域の繋がりをつくっていくことを目標としております。



(令和元年9月10日)名取市役所にて名取市内での「交通死亡事故6ヶ月間ゼロ件」達成の讃辞を県警本部長より頂きました。宮城県では、昨年を大幅に上回るペースでの交通死亡事故の急増に鑑み、「交通死亡事故多発緊急事態(8月8日から9月7日までの1ヶ月間)」を宣言しました。その甲斐もあり期間中県内の死亡事故は激減し、市内での交通死亡事故もありませんでした。



(令和元年 9 月 12 日) 名取市下増田公民館にて「下増田地区ふれあいのつどい」が開催されました。このつどいは、地区の敬老会として 80 歳以上の方を招待し、地区内の団体やサークルの方々が歌や踊りを披露して長寿をお祝いします。山田市長は、来賓として祝辞を述べました。



(令和元年 9 月 12 日) 名取市に所在を置くサッポロビール仙台工場にて、東北地方で栽培されたホップ(ホクトエース)を 100%使用した「サッポロ生ビール黒ラベル東北ホップ 100%」の「ホップ投入式」が行われ、山田市長は来賓として仕込み釜にホップを投入しました。このサッポロビール黒ラベルは東北エリア、数量限定で 10 月 23 日より発売します。



(令和元年 9 月 14 日)名取市の新たな名産品「北限のしらす」の今季初水揚げにあわせて「第 3 回 閑上しらす祭り」が開催されました。会場の閑上水産加工団地では地元の水産加工業者が、釜揚げシラスやシラス丼などを市価より安く販売し、大勢の買い物客で賑わいました。山田市長は、公務の合間に会場に立ち寄り、北限のしらすを PR しました。



(令和元年 9 月 14 日)石巻地区を中心に「ツール・ド・東北」が開催されました。名取市閑上地区では、今後の福島ルート見据え福島県南相馬市発の視察ライドが行われ、山田市長も自転車に乗り閑上地区の案内や復興状況説明をしました。「ツール・ド・東北」とは、株式会社河北新報社とヤフー株式会社が東日本大震災の復興支援、および震災の記憶を未来に残していくことを目的に、2013 年より開催している自転車のイベントです。



(令和元年 9 月 19 日) 東日本大震災当時からの人的支援を頂いている石川県金沢市の山野市長様が閉上の復興状況の視察に来られました。視察したのは、新しく小中一貫校として生まれ変わった閉上小中学校や閉上公民館、複合商業施設のかまちてらすなどを廻り、震災メモリアル公園では、東日本大震災の慰霊碑に献花され、日和山公園で山田市長より復興状況の説明がありました。最後に環境省の復興プロジェクト、みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターを見学されました。



(令和元年 9 月 20 日) 名取市役所にて、「令和元年度 秋の交通安全市民総ぐるみ運動出発式」が行われました。式では、山田市長と岩沼警察署長から交通安全母の会会長へ交通安全を呼びかけるメッセージの伝達式も行われました。交通安全運動の実施期間は、9 月 21 日から 30 日までの 10 日間で、期間中の 9 月 30 日は交通死亡事故ゼロを目指す日です。



(令和元年 9 月 30 日)9 月 11 日の第 4 次安倍内閣 第 2 次改造内閣で新たに復興大臣に就任した田中和徳大臣が東日本大震災で被災した名取市閑上地区を訪問されました。震災メモリアル公園では、東日本大震災の慰霊碑に献花されたのち、日和山にて山田市長より新たな街づくりに向けた区画整理事業など復興状況について説明を受けました。



(令和元年 9 月 30 日) 名取市役所にて、「第 54 回全国高等専門学校体育大会硬式野球競技」で全国優勝を果たした仙台高等専門学校 名取キャンパス硬式野球部の学生が、山田市長に報告にいらつしました。この大会は、全国各地持回りで、今年は岡山県倉敷マスカットスタジアムで 8 月 20 日～22 日に開催し、前年の宮崎大会に続き 2 連覇を達成しました、来年の大会で優勝すれば史上発の 3 連覇になります。



(令和元年 10 月 1 日)名取市文化会館にて「令和元年度名取市市政施行記念式典」が開催されました。今年の表彰者数は、功労者表彰が 34 名と元気高齢者表彰 48 名、スポーツ賞顕彰は個人で 117 名と 8 団体の方々を受賞されました。本当におめでとうございます。



(令和元年 10 月 1 日)名取市文化会館にて、「カナダを知る講演会」が開催されました。名取市は、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において東日本大震災の時にどんぐり・アンみんなの図書室やゆりあげ港朝市メイプル館など多大な支援を受けたカナダ国の「復興ありがとうホスタウン」に登録されています。今回、市民の皆様方にカナダを身近に感じていただくために、元駐カナダ日本大使館・日加協会常務理事の石川薫様による「心優しいカナダ 人と人、人と自然の調和に生きる」と題して講演して頂きました。





(令和元年 10月2日)名取市市民活動支援センターにて名取昔ばなし語りの会様による「第16回 民話まつり」が開催されました。語りの会様の活動目的は、「民話には喜びや悲しみ、生きる知恵、工夫が織り込まれています。それらを伝える事で、子供からお年寄りの皆様まで、人生を豊かに感じていただきたいと思い、また地域に伝わる民話を語る事で、子供達に郷土愛というものを伝える手助けが出来ればと思っています」



(令和元年 10月5日) 名取市下増田地区の(有)耕谷アグリサービスにて「なとり・ぐるっと親子講座」第5回目 稲刈り、餅つき体験が開催されました。この講座は、5月に第1回の田植え体験から始まり今回で閉会となります。山田市長も参加し、稲刈り作業と餅つきをお手伝いしました。なとり・ぐるっと親子講座とは、親子での農業体験を通じ、名取市内の農産物を見て・触れて・食べて、そして生産者と交流することで、農産物への知識や理解を深め、毎日の食生活の見直しや、地産地消の推進を図る事業です。





(令和元年 10 月 5 日)名取市文化会館にて「名取市サポートセンターどっとなとり(JOCA)」が主催する「名取復興文化祭 2019」が開催されました。会場では、名取市で活躍するサークルや愛好会の方々が、ダンスや民謡、踊り、コーラスなどを披露されました。展示ギャラリーでは、手芸品やリース、小物など手作りの作品の展示が行なわれました。



(令和元年 10 月 11 日) 名取市文化会館にて名取市老人クラブ連合会様主催で「第 46 回 名取市老人クラブ芸能大会」が開催されました。舞台では、名取市内の各地区の老人クラブ会員様による歌や踊りなどが披露されました。山田市長は来賓として祝辞を述べました。





(令和元年 10 月 11 日)岩沼市勤労者活動センターにて「令和元年 全国地域安全運動」の岩沼・名取地区出発式が行われました。会場では、岩沼地区防犯協議会連合会様より、岩沼市、名取市への防犯カメラ寄贈式もあわせて行われました。この運動は、10 月 11 日から 20 日までの 10 日間で、防犯協会をはじめとする地域安全に関する機関、団体そして警察が、もっと安心して暮らせる安全な地域社会の実現を目指して開催しております。



(令和元年 10 月 17-18 日)名取市文化会館と仙台国際空港(株)にて全国民間空港関係市町村協議会「令和元年度 空港フォーラムin名取」が開催されました。名取市文化会館では、宮城学院女子大学教授による「空港から始まるインバウンドツーリズム」と題しての基調講演や空港に関するパネルディスカッションなどが行われ、仙台国際空港では、空港の概要説明や施設見学が行われました。このフォーラムは、全国の民間空港が所在する市町村等をもって組織され、加盟市町村が有する民間空港関連の各種の問題を総合的に調査研究し、これを解決するための方策を推進することを目的に活動しています。





(令和元年 10 月 26 日)名取市の姉妹都市、山形県上山市の三友エンジニア体育文化センターにて「上山産業祭り」が開催されました。昨年に引き続き名取市のブースでは、北限のしらすやセリ鍋、海産物などが出店され大勢のお客様でにぎわいました。山田市長が来賓として出席し祝辞を述べました。



(令和元年 10 月 27 日)名取市文化会館にて、名取市文化協会が主催する「第 45 回なとり文化芸術祭」が開催されました。文化会館内の各会場では、素晴らしい舞台発表や作品の展示が行われました。山田市長は開会式に出席し祝辞の言葉を述べました。





(令和元年 10 月 30 日)仙台国際空港にて「タイ国際航空 仙台—バンコク 直行便就航記念セレモニー」が開催されました。タイ国際航空は現地時間 10 月 29 日から、バンコク—仙台線の運行を再開しました。仙台とタイを結ぶ定期便は 300 席以上ある大型機を使用して、週3往復運行します。2014 年 3 月の運休以来 5 年 7 ヶ月ぶりの再就航となります。山田市長は、来賓としてテープカットをしました。



国際航空 仙台—バンコク 直行便就



(令和元年 11 月 3 日)名取市民体育館で「2019 ふるさと名取秋まつり」が開催されました。会場では、地元で採れた新鮮な農産品や農産加工品の展示販売、ステージショーなど多くの催し物が行われました。姉妹都市コーナーでは、山形県上山市と和歌山県新宮市も地域の特産品を格安で販売していただき来場者に大好評でした。





(令和元年 11 月 6 日)宮城県栗原市で開催された「全国中学校駅伝大会 宮城県予選大会」で、名取市立増田中学校男女駅伝チームが、昨年に続きダブル優勝し、名取市役所にて報告会が行われました。増田中男子チームは3年連続3度目、女子チームは昨年に続き2度目の優勝で男女同時優勝2連覇は大会史上初めてです。全国大会は、滋賀県野州市で12月15日に行われます。



(令和元年 11 月 9 日)名取市南部の丘陵地に位置し、名取が丘団地を学区とする名取市立不二が丘小学校にて「名取市立不二が丘小学校 創立 50 周年記念式典」が行われました。不二が丘小学校の「不二」とは、日本に唯一の特色ある「二つとない」学校を目指す。また、職員と保護者、児童が心を一つにして調和と統一のある「二つでない」学校を目指すという建学の精神が表されています。



(令和元年 11 月 10 日)名取市高館熊野堂河川敷グラウンドにて「宮城県消防協会名取地区支部連合演習」が行われました。この演習は、名取市と岩沼市の消防団の方々が日頃の鍛錬の成果を如何なく発揮し披露する訓練です。山田市長は、来賓として祝辞を述べました。



(令和元年 11 月 11 日)名取市文化会館にて、仙台南地区 租税教育に関する研究発表会が行われました。この発表会は、租税教育推進校による実践的租税教育が終了し、その成果を報告するものです。国税庁では、次世代を担う児童・生徒が、民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的としています。山田市長は開催地顧問として祝辞を述べました。



(令和元年 11 月 14 日)愛知県名古屋市のウエスティンナゴヤキャッスルにて「宮城県企業立地セミナーin Nagoya」が開催されました。このセミナーは、宮城県と県内 34 市町村、宮城県土地開発公社によって構成され、宮城県企業立地セミナー実行委員会が主催のイベントで毎年 11 月に開催しております。名取市では、山田市長も参加し、名取の魅力を PR しました。



(令和元年 11 月 20 日) イオンモール名取のイオンホールにて「子育て講演会」が開催されました。この講演会の講師に、宮城大学看護学群 教授の塩野 悦子先生をお迎えして「親子を真ん中に置いたチーム育児のすすめ」と題して講演していただきました。このイベントは、宮城ホームスタート連絡協議会、一般社団法人マザー・ウイング 子育て支援 ARI ママネットなどが主催しました。ホームスタートとは、未就学児(6 歳未満)が 1 人でもいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問する「家庭訪問型子育て支援ボランティア」です。



(令和元年 11 月 21 日) 名取市立不二が丘小学校 体育館にて「名取支援学校名取が丘校開校式」が行われました。今回、新しくできた支援学校は、名取市の高館山の麓にある宮城県立名取支援学校の分校で不二が丘小学校の東校舎を改修し、平成 31 年 4 月に宮城県立名取支援学校名取が丘校として開校しました。主に小学部の生徒が登校します。



(令和元年 11 月 27 日) 名取市文化会館にて、「夢サポート事業 植松努氏講演会」が開催されました。今回の講演は、市内の中学 2 年生を対象に「思うは、招く。」～夢があればなんでもできる～、と題して、自分の経験をもとに「どうせ無理」を無くし、夢を諦めない事の大切さを伝えていただきました。植松努氏は、北海道で株式会社植松電機の社長を務めながら北海道大学大学院の永田教授とともにロケットの研究開発に取り組み、数々の失敗を経験しながら、今では「NASA(米国航空宇宙局)より宇宙に近い町工場」と呼ばれ、世界中から技術者が視察に訪れています。



(令和元年 11 月 28 日) 名取市小塚原地区で整備を進めている名取市墓地公園にて「わたしの街に、未来の桜を植えよう」プロジェクトの植樹式が行われました。このプロジェクトは、日本ならではの四季を楽しむ心を大切にしていきたいとの思いから、日本の象徴である「桜」を未来にさかせ続けるため、「お〜いお茶」の対象商品の売上の一部を、全国の桜の木の植樹活動に寄附させていただき取り組みです。



(令和元年 11 月 29 日)名取市文化会館にて、名取市社会福祉協議会と市内の福祉関係団体による「令和元年度 第 45 回 名取市社会福祉大会」が開催されました。会場では、名取市の社会福祉に功績があった方々に感謝状の贈呈式や東北大学 医学部講師 安藤紀昭氏による「健康講話～全身と口腔との関連～」と題して記念講演が行われました。



(令和元年 11 月 30 日)名取駅西口側に隣接するサッポロビール仙台工場ゲストホールにて、「歌のギフトコンサート 3in 名取 世界の名曲コンサート」が開催されました。このイベントは、サッポロホールディングス(株)のグループ企業である(株)サッポロライオンの「音楽ビヤプラザライオン 銀座店」にて生演奏ステージを披露している音楽家たちが、東日本大震災による被災地に音楽を届ける活動としてギフトコンサートを開催しております。このコンサートの前に音楽ビヤプラザの演奏家の方々よりチャリティーコンサートでお客様から頂いた音楽料を、「名取市の中学校の楽器購入費用などにお使いください」と名取市へ寄附金を贈呈していただきました。



(令和元年 12 月 2 日)名取市役所にて、東日本大震災で津波被害を受け、土地区画整理事業が進む名取市の「閑上東地区産業用地」で、民間企業 9 社の事業所設置が新たに決まり、名取市と企業立地協定を結びました。今回、協定を結んだのは、食肉製品を製造する「(株)陣中」様と生花加工卸売の「(有)フラワーグリーン花王堂」様、土木工事業の「(有)ファインペイブメント」様、情報サービス業の「(有)くまのて企画」様、上下水道及び給排水衛生空調工事の「鹿又工業(株)」様、電気・空調工事の「(株)アイム」様、トレーニングジム・整骨院の「合同会社 フィジック」様、一般機械加工・家具作成加工の「神谷製作所」様、金属加工の「遠藤鉄工所」様の 9 社です。



(令和元年 12 月 3 日) 名取市役所にて、石鹸メーカーの(株)畑惣商店様が今年も名取市内の小中学校や保育所等へ、ノロウイルスの感染対策に役立ててほしいと「坊ちゃん石鹸」を提供して頂きました。(株)畑惣商店様では、坊っちゃん石鹸の原料にオリジナルのマークを刻印することができます。素肌に優しい純無添加成分でマイ石鹸やノベルティ、記念品、贈答品としてもご利用できるそうです。(写真右下は、蔵王町観光 PR キャラクター「ざおうさま」の刻印です)



(令和元年 12 月 7 日) 下増田地域盛り上げ隊の ワッショイ! DEN×3(でん、でん、でん)が主催する「さつまいもをみんなでたべよ!」のイベントが下増田公民館で行われました。会場では、あつあつの焼き芋を食べたり、さつまいもを使ったクッキング、芋づるでのリースづくりなどの体験がありました。ワッショイ! DEN×3とは、下増田公民館の地域向上講座から生まれた市民団体で、DEN ×3の3つの DEN は下増田の田、美田園の田、以前の公民館の住所 田吾作の田を DEN(でん)と読み、下増田地区のみんなが笑顔の輪・和でつながり魅力ある地域づくりを目指しています。



(令和元年 12 月 17 日) 名取市役所にて、「愛島台の土地活用に係る協定」の調印式が行われました。この協定は、名取市南西部の丘陵部を切りひらいた愛島台地区の土地活用について、優れた企画力と経営能力を備えた民間企業の皆様方から、自由で柔軟性があり、なおかつ、速効性のある事業提案をいただき、造成から販売まで名取市の取組を支援していただける事業所の選定を行いました。今回は、渋谷商事株式会社様が提案する計画を協議し包括協定を結びました。



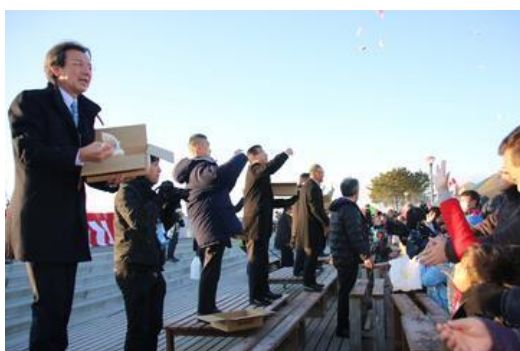
(令和元年 12 月 20 日)名取市役所にて、ラテンアメリカ野球選手権大会の日本代表選手として名取市立増田小学校の2名が選ばれ、山田市長に報告にいらっしやいました。この大会は、毎年1月に中南米で開催され、出場チームは7カ国(メキシコ、ベネズエラ、プエルトリコ、パナマ、コロンビア、アメリカ、日本)で、主に中南米地域の子どもたちが参加する硬式少年野球大会です。



(令和元年 12 月 25 日)名取市役所にて、NTT タウンページ株式会社様と名取市との防災啓発等に関する協定の締結式が行われました。この協定は、地震、風水害、津波、土砂災害及びその他の自然災害等の防災意識を高め、地域防災力の強化を図るために、各種ハザードマップや防災の心構えなど市民一人ひとりの防災意識向上に役立つ紙媒体での防災啓発情報誌等を名取市と協力して発信することを目的としています。



(令和2年1月5日)名取市ゆりあげ港朝市で、令和2年の新春初市が開催されました。今年も、牡蠣汁のおふるまいや豪華商品が当たる餅まきが行われたほか、お客様を対象に朝市初競りなどが行われ大勢の来場者でにぎわいました。



(令和2年1月7日)仙台国際空港株式会社 ターミナルビル3階にて、航空会社や仙台空港に関連する業者等の賀詞交換会が行われました。山田市長は来賓として出席し、新年の祝辞を述べました。



(令和2年1月7日) サッポロビール株式会社 仙台工場のゲストホールにて、名取市商工会、名取岩沼農場協同組合、名取市漁港組合関上支所、名取市役所の4社が主催する「名取市新春祝賀会」が開催されました。名取市の著名な方や会社関係、県・市議会議員の方々など多くの方が参加しました。



(令和2年1月12日) 名取市民体育館駐車場で令和初の名取市消防出初め式が行われました。会場では、消防団員や婦人防火クラブ、幼年消防クラブによる観閲行進や建物からの救助訓練、消防団による放水訓練などが行われました。



(令和2年1月12日)名取市文化会館にて、令和初の名取市成人式が行われました。式典では、山田市長から激励の言葉やカーネーションの花束贈呈、新成人代表による誓いの言葉などが行われました。今年の名取市を担う新成人は、829人いらっしゃいました。おめでとうございます。



(令和2年1月17日)名取市文化会館にて、「地域支え合い報告会」が開催されました。会場では、講師に東北子ども福祉専門学院 副学長の大阪純氏による「地域での支え合い活動について～住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために～」と題して講話があり、第二部では、増田、増田西、名取が丘地区の方から支え合い活動に関する取組事例の発表がありました。山田市長は、コメンテーターとして参加しました。



(令和2年1月24日)名取市役所にて、管理職員を対象に「令和元年度 ゲートキーパー研修会」が行われました。研修会では、講師に、みやぎ心のケアセンター センター長の小高 晃氏による、「こころの健康づくり」生きる支援～気づく・寄り添う・支え合う・つなぐ～」と題して講話がありました。ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。



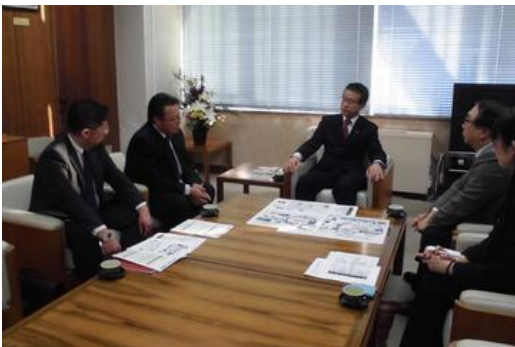
(令和2年2月1日)名取市男女共同参画推進事業の一環として、「翔け！名取の女と男・市民のつどい」が名取市文化会館にて開催されました。会場では、名取市地域婦人団体連絡協議会による手話ソングや寿なとり学園理事長の佐藤宏郎氏と、みやぎおかみの会会長の阿部憲子氏による女性が活躍する職場に関する基調講演が行われ、第二部では、「女性いきいき！名取いきいき！」をテーマにパネルディスカッションが行われました。



(令和2年2月4日)名取市役所にて、第50回 日本少年野球春季全国大会 東北支部予選会で優勝した南仙台ボーイズの選手及び関係者が、山田市長に報告にいらっしやいました。南仙台ボーイズは、仙台の少年野球チームですが名取市の中学生が選手として5名在籍しています。全国大会は、各支部で優勝した41チームで、東京都や埼玉県などを会場に3月26日から5日間で行われます。



(令和2年2月7日)名取市の閑上赤貝組合が農林水産みらい基金助成対象事業所に選ばれ山田市長に報告及び説明にいらっしやいました。農林水産みらい基金とは、前例にとられず創意工夫にあふれた取組みで、直面する課題の克服にチャレンジしている地域の農林水産業者へ、あと一步の後押しを通じて食と地域の暮らしの発展を目的としたプロジェクトです。今回、閑上赤貝組合が助成をうけた事業は、「先端技術を用いたサステナブル(持続可能な産業)な自発経営型漁業モデルの構築」で、今後も閑上漁港の発展を目指しています。



(令和2年2月8日)名取市増田公民館にて、名取市生涯学習推進大会「なとりまなびフェスティバル」が開催されました。会場ホールでは、伊達家十八代当主の伊達泰宗氏による講演会や市内の公民館を拠点に活動している団体が創作劇や日本舞踊、フラダンスなどの発表がありました。各講義室や調理室では、市民講師派遣事業に登録している講師による生活廃品を使ってのおもちゃ遊びや手品、エッチング(ハーバリウム)、飾り巻き寿司などの実演や体験コーナーもあり大勢の市民でにぎわいました。



(令和2年2月25日)名取市の商業施設「かわまちてらす閑上」で、ウォータープロジェクションマッピング「はるか2020」の開催が決まり宮城県庁にて記者発表がありました。このイベントは、桜プロジェクト様が主催で、東日本大震災の復興機運の風化防止を目的に、2013年から毎年東北地方で開催しています。宮城県での開催は初めてで、今回のテーマは、「希望の芽・未来を咲かす」と題して、幻想的な映像と弾き語りの演奏、ダンスパフォーマンスを組み合わせた演出を披露します。日時は、4月11日(土曜日)18:30から4回の講演を予定しております。山田市長は、開催地の市長として出席しました。



(令和2年2月26日) 東日本大震災で被災した名取市閑上地区の事業者による仮設商店街「閑上さいかい市場」の閉所式が閑上公民館で行われました。震災の翌年の平成24年2月から営業の再開、お客様との再会を目指し美田園地区で営業しておりました。震災から約9年となり、閑上地区の復興工事が進むと共に各店閑上地区等に移転しており昨年の12月31日をもって閉鎖いたしました。



(令和2年3月5日) 名取市閑上東地区にて、3月にオープン予定の名取市復興震災伝承館の紹介動画撮影が行われました。この伝承館は、東日本大震災の記憶及び教訓を後世に伝え、大震災を風化させることなく、防災意識を高めるとともに、市民、復興支援者及び来訪者の交流の場として建設しました。



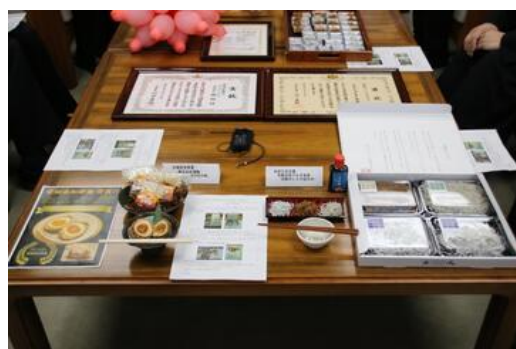
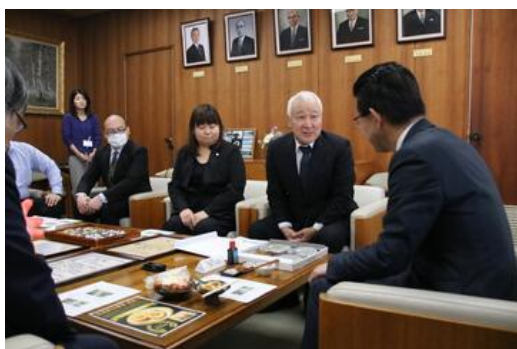
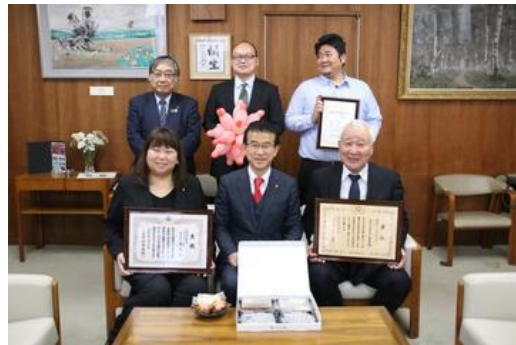
(令和 2 年 3 月 5 日)東日本大震災で亡くなった身元不明者のご遺骨を安置していただきました紹樂寺(じょうがくじ)の佐藤勝哉住職様に感謝状を贈りました。震災から 9 年を前に高館地区にある紹樂寺で安置していただいた身元不明者のご遺骨 4 柱を引き取り、名取市墓地公園の無縁合葬墓に納骨しました。山田市長は、佐藤住職様に感謝状を贈ったのち市墓地公園にて献花と焼香を行いました。



(令和 2 年 3 月 11 日) 名取市文化会館で東日本大震災追悼式が規模を縮小して行われました。震災発生から 9 年となる今年は、新型コロナウイルスの影響で式典を取りやめ、参列者が自由に献花する方式に切り替えました。午前 9 時ころに山田市長が震災犠牲者の名簿を祭壇に奉納しました。震災発生時刻の午後 2 時 46 分には、閉上地区にある東日本大震災慰霊碑にて犠牲者の霊に黙とうを捧げ、献花をしました。



(令和2年3月13日)女川まちなか交流館で開催された「第44回宮城県水産加工品品評会」にて閉上水産加工業組合の2社が受賞し、山田市長に報告に来られました。受賞されたのは、有限会社 マルタ水産様の「北限のしらす詰合せ」が水産庁長官賞、株式会社 飛梅様の「ほやほやほや卵」が宮城県知事賞に輝きました。マルタ水産様の「北限のしらす詰合せ」は、釜揚げしらす、天日干しちりめん、山椒ちりめんとしらすを一度に楽しめる詰合せで、飛梅様の「ほやほやほや卵」は、ほやの身でゆで卵を包み甘辛く煮つけた商品で、黄身を半熟にする技術は飛梅様のみだそうです。



(令和2年3月24日)旧図書館の建物を活用して、4月26日にオープン予定の名取市歴史民族資料館にて、「歴史民族資料館ボランティア研修講座」が行われました。この講座は、資料館で館内の展示解説やイベント・講座などの活動をサポートしながら名取市の歴史・文化を学ぶお手伝いをしていただける方の講習会です。



(令和2年3月25日)東日本大震災の津波で全壊し休館していた名取市の閑上児童センターが、閑上小中学校の南隣りに移転新築し、9年ぶりに児童受け入れを再開しました。新型コロナウイルスの関係で式典は無くし、山田市長は、児童センターの再開を記念して子どもたちに歓迎の言葉を述べました。



(令和2年3月27日)名取市役所で、東日本大震災の津波被害を受け、土地区画整理事業が進む名取市閑上東地区産業用地に、民間企業4社の事業所設置が新たに決まり、名取市と企業立地協定を結びました。今回、協定を結んだのは、建設業・リース業の株式会社ワタケン様、道路貨物運送業の宮城エクスプレス様、建設業の洞口商事株式会社様、食料品製造業の鈴栄商店様です。



(令和 2 年 3 月 30 日) 名取市役所にて、東日本大震災の津波被害を受けた沿岸部で公営住宅の建設や、公共施設の復旧などインフラ整備がおおむね完了し、ひとつの節目として「復興達成宣言」を発表しました。今後引き続き、被災者の心のケアや震災の記憶の伝承、閑上地区への定住促進などを進めて行く考えです。発表のあと、山田市長は、閑上地区の慰霊碑にて復興が一つの節目を迎えたことを報告し献花しました。



(令和 2 年 3 月 30 日) 名取市役所にて、名取市サイクルスポーツセンターの管理運営に関する基本協定締結式が行われました。この締結は、名取市とスポーツクラブと指定管理施設を運営する セントラルスポーツ様、名取市本店は創業 40 年を迎えるレストラン HACHI 様、秋保温泉で温泉旅館を営む ホテル佐勤様の共同企業体で構成され、サイクルスポーツセンターには、宿泊施設や温泉もあり客室やレストランにも自転車を持ち込むことができます。施設の愛称は、名取ゆりあげ温泉「輪りんの宿」(りんりんのやど)に決まり、今年の秋に開業を予定しております。



(令和2年3月30日) 名取市役所1階ホールにて、仙南ガス株式会社様より超音波式噴霧器と除菌電解水生成器を頂き、贈呈式が行われました。新型コロナウイルス対策として市役所の玄関ロビーに、大型の機器2台と小型の1台を設置いたしました。この次亜塩素酸水は、基本的に水と水を電気分解して生成された微酸性電解水ですので、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムと違い、空間に噴霧しても安心・安全な人と環境に優しい除菌水です。仙南ガス様は、少しでも市民の皆様の健康を守る一助になれば幸いとの思いで寄附して頂きました。

